



Professional Mixing Controller

PCV-275

取扱説明書

〒154-0023

東京都世田谷区若林 1-18-6

電話 03-3412-7011 ファックス 03-3412-7013

Web : www.vestax.jp

Printed in JAPAN

ごあいさつ

この度は、VESTAX PCV-275 プロフェッショナルミキシングコントローラーをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

本機の性能を最大限に発揮するためにも、この取扱説明書を良くお読み下さるよう、お願いいたします。

目次

本機の特長	1
安全上のご注意	2
各部の名称と機能	3
プログラムインプット部	4
フェーダーユニットの交換	5
マイク・サブインプット部	6
アイソレータマスター部	6
リアパネル部	7
主な仕様	7

本機の特長

- 各プログラムチャンネル(PGM1, PGM2)にPHONO1系統、LINE2系統の入力を装備。それぞれのプログラムには、3バンドEQ、バランスコントロール、トリムコントロールを装備し、細かいセッティングが可能です。また、イントップフェーダーヴォリュームには60mmのフェーダーヴォリュームを使用しており、テクノ、トランス、ハウスドラムベースといったロングミックスを要求されるジャンルに最適です。フロントの操作パネル上に、ライン入力端子を1系統装備、MD・CD・DAT等の周辺機器の接続が容易に行えます。
- MICチャンネルにはMIC1、MIC2の2系統の入力を装備。HI、LOWの2BANDイコライザーにより、LOW PASS、HI PASS等の音質補正が行えます。
- 各チャンネルにエフェクト切替えスイッチを装備しており、プリフェーダー、ポストフェーダーの2通りの出力ラインを選択できます。2IN-2OUTステレオのセンド/レシーブ端子にエフェクターを接続することによりディレイ、リバーブ等の各種エフェクターを使用することができます。
- PGM1、PGM2にアイソレーターを装備しています。HI、MID、LOWの3帯域を自由にカットしながら2つの音楽ソースをミックスすることが可能です。
- 新開発のPCV(プラスチック・コンダクティブ)フェーダーを、クロスフェーダーに使用しました。なめらかかつスムーズな操作性と今まで類を見ない程の高寿命を実現しました。
- 操作面にパネルの継ぎ目のない、ダブルパネルシステムを採用しています。インプットフェーダー、クロスフェーダーはパネルの下にマウントされており、トップパネルをはずせば、簡単に交換することができます。

安全上のご注意

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしていますので「安全上のご注意」の内容をよくご理解下さいますようお願い致します。



警告

この表示を無視して誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



電源プラグをコンセントから抜け

- 記号は行為を強制したり表示する内容を告げるものです。図の中に具体的な表示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。



分解禁止

- 記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な表示内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



指を挟まれないよう注意

- △ 記号は注意を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な表示内容（左図の場合は指をはさまれないように注意）が描かれています。

警告



電源プラグをコンセントから抜け

- 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなど異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて下さい。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。
- 万一、内部に水や異物などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、その後電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、その後電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



水槽での使用禁止

- 風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

注意



電源プラグをコンセントから抜け

- お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。



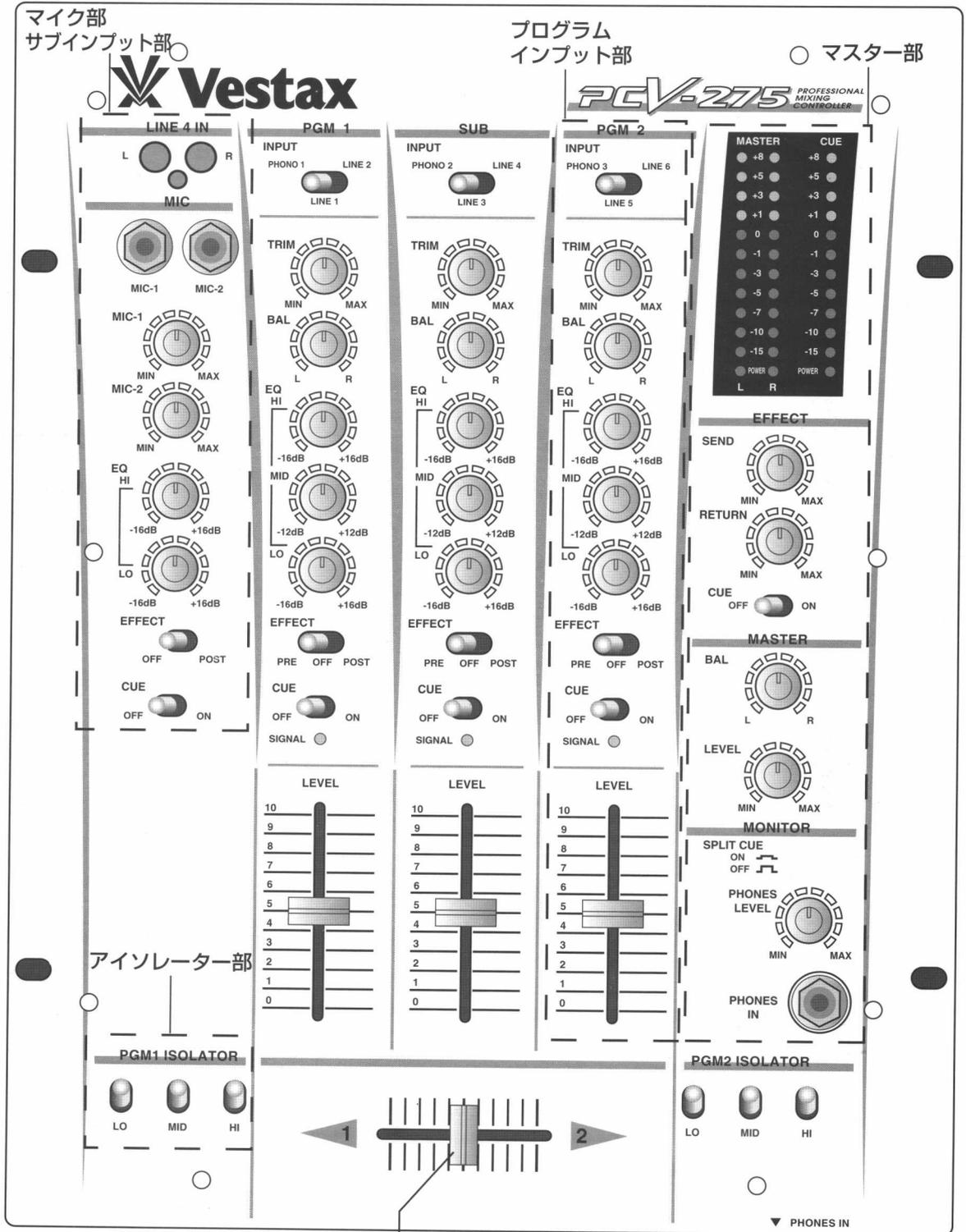
- オーディオ機器、スピーカー等の機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。又接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。
- 電源を入れる際には音量を最小にしてください。突然大きな音がでて聴力傷害などの原因となることがあります。
- 5年に一度くらいは機器内部の掃除を販売店などにご相談ください。機器の内部にほこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行なうと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店などにご相談してください。
- ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えます。



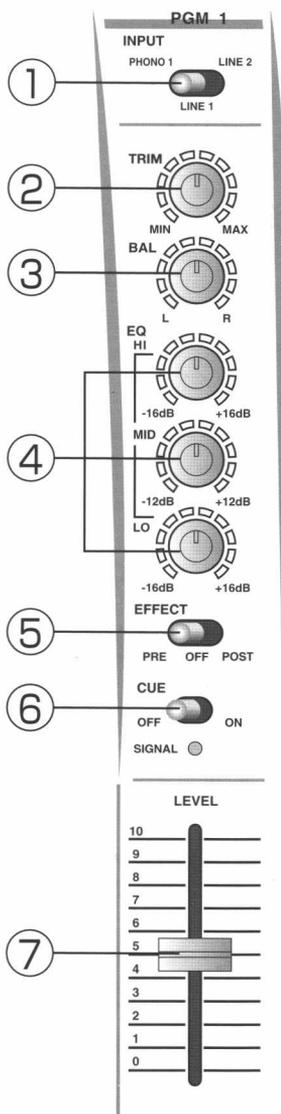
- 調理台や加湿器のそばなど湯煙が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- 電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に湿度が高くなる場所に放置しないでください。部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

各部の名称とはたらき

トップパネル



プログラムインプット部



■プログラムインプット部

- ① **インプットセクター**
各プログラムの入力をPHONO1系統、LINE2系統から選択します。
- ② **トリムコントロール**
各プログラムの入力レベルを調節します。インプットフェーダーを7~8の位置にセットして、レベルメーターが0dB位まで点灯するように調整して下さい。
- ③ **バランスコントロール**
各プログラムのL/Rバランスを調節します。ターンテーブルのアンチスケーティングを強めに設定したときに生じる、L/Rバランスの不良を補正することもできます。
- ④ **EQ (HI、MID、LOW)**
各プログラムの音質を調節する、3バンドイコライザーです。各バンドは、次の特性を持っています。

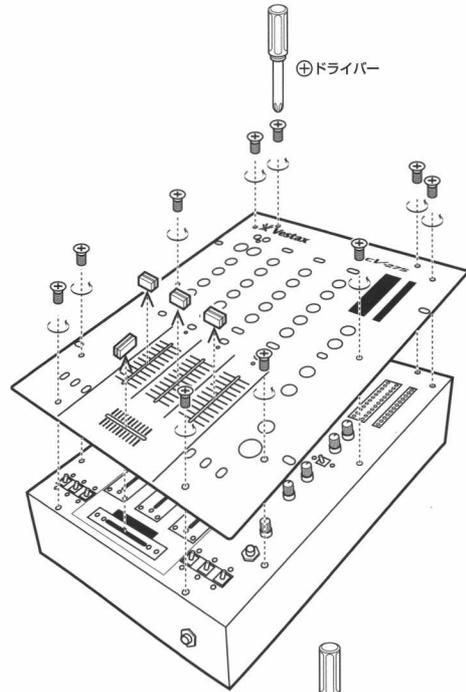
HI	8kHz	±16dB	シェルビングタイプ
MID	500Hz	±12dB	ピーキングタイプ
LOW	80Hz	±16dB	シェルビングタイプ
- ⑤ **EFFECT SWITCH**
各プログラムの信号を外部エフェクターへ送るためのスイッチです。スイッチの設定を切り替えることにより以下のような効果を使い分けることが可能です。
P R E :インプットフェーダーを通過する前の入力信号が、EFFECT SEND JACK③4より出力されます。
O F F :EFFECT SEND JACKより信号は出力しません。
P O S T :PGM1、PGM2は、クロスフェーダーを通過した後、SUB chはインプットフェーダーを通過した後の入力信号が、EFFECT SEND JACK③4より出力されます。
- ⑥ **CUEスイッチ**
各プログラムにおけるプリフェーダーからの信号をヘッドホンモニター部に出力するかどうかを選択するスイッチです。ヘッドホンでプログラムの入力をモニターする際に、このスイッチをONして下さい。2つ以上のCUEスイッチをONにした場合は同時に複数の音声が入力されます。
- ⑦ **インプットフェーダー**
各プログラムの入力レベルを設定します。永年の使用による劣化でノイズが目立つ場合には、新しいインプットフェーダーユニット“IF-175”に交換して下さい。なお、交換は次の要領で行って下さい。(次ページ参照)
 - トップパネルを取りはずします。
 - フェーダーユニットをパネルごと取り出します。
 - フェーダーユニットから、マルチケーブルコネクタを抜きます。
 - 新しいフェーダーユニットに、コネクタを差し込み取り付けネジでパネルに固定します。
 - トップパネルを取り付けます。
- ⑧ **クロスフェーダー**
左側に移動するに従いPGM1にアサインした音が、右側に移動するに従い、PGM2にアサインされた音がそれぞれ出力されます。また中央部では、両方の音が同時に出力されます。クロスフェーダーを動かしたときにノイズが目立つようになった場合は、交換用クロスフェーダーユニットCF-PCVに交換して下さい。なお、交換は次の要領で行って下さい。(次ページ参照)
 - トップパネルを取りはずします。
 - フェーダーユニットをパネルごと取り出します。
 - フェーダーユニットから、マルチケーブルコネクタを抜きます。
 - 新しいフェーダーユニットに、コネクタを差し込み取り付けネジでパネルに固定します。
 - トップパネルを取り付けます。

注意

ドライバーをご使用する際に、ドライバーのサイズが合わないとネジを破損させてしまう恐れがありますので、サイズの合ったものをご使用下さい。

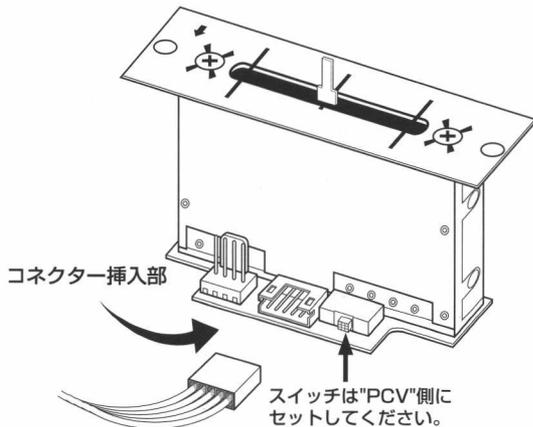
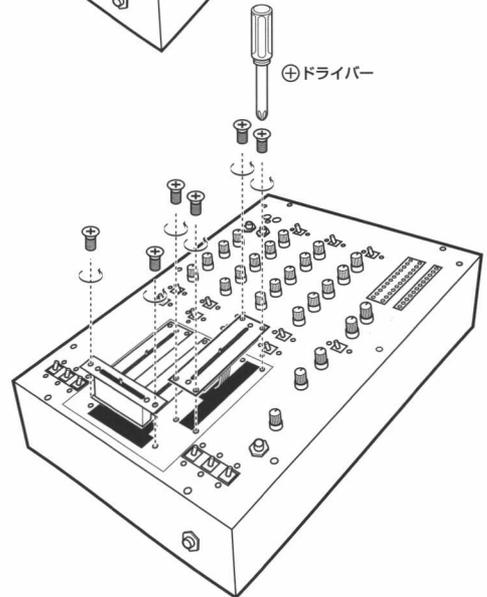
トップパネルの外し方

- ① 右図のようにインプットフェーダー(⑦)、クロスフェーダー(⑧)のツマミを取り外して下さい。(計4個)
- ② トップパネルを固定している10点のネジを、図のようにプラスドライバーを使用し、外して下さい。

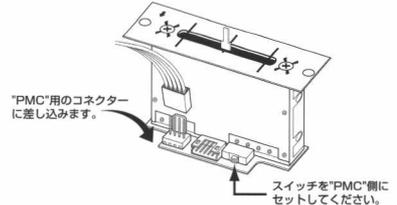


フェーダーの交換

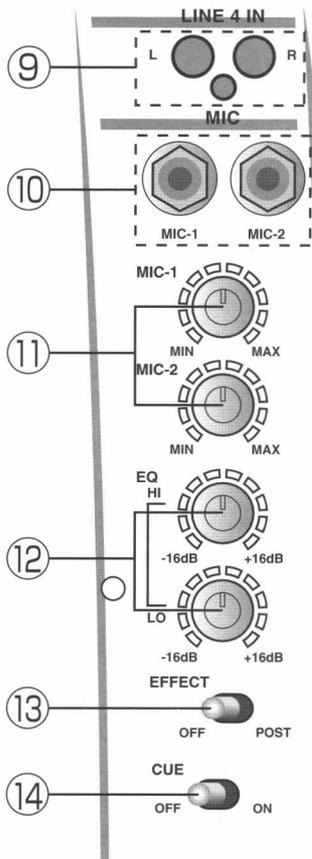
- ① 右図のように、フェーダーパネルを固定しているネジを外し、フェーダーユニットごと上へ持ち上げて下さい。
- ② 右図のように、フェーダーユニットと本体側を接続しているコネクタを引張って取り外して下さい。(この際、コネクタのピンを曲げないように注意して下さい)
- ③ 新しいフェーダーユニットと交換し、②→①の手順で元に戻して下さい。



CF-PCVをPMC-05Pro等のPMCシリーズに使用するとき



マイク・サブインプット部



■マイク・サブインプット部

- ⑨ **LINE 4 インプットジャック**
SUB chのラインレベル機器用の入力端子です。本機がラックマウントされている状態で、CD,MD,DAT等の機器を接続するときに便利です。
- ⑩ **MICインプットジャック (MIC 1,2)**
MIC 1,2の入力端子です。
- ⑪ **MICレベル**
2系統ある各マイクのレベルを独立して調節します。
- ⑫ **MIC EQ (HI, LOW)**
マイクの音質をHI/LOWの2バンドで調節します。
- ⑬ **MIC EFFECTスイッチ**
MICチャンネルの信号をEFFECT SENDへ送るかどうかを設定します。スイッチをPOST側にするるとマイクの信号が、EFFECT SEND JACKへ出力されます。
- ⑭ **CUEスイッチ (マイクチャンネル部)**
MIC chHに入力された信号をモニター部に出力するスイッチです。ヘッドホンでモニターする際には、このスイッチをONにしてください。

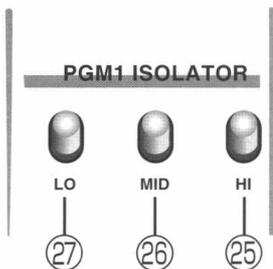
■マスター部

- ⑮ **マスターアウトレベルメーター**
LEDバググラフにより、L,RchHから出力される信号レベルを表示します。
- ⑯ **キューレベルメーター**
LEDバググラフにより、キューレベル(入力レベル)を表示します。ただし、2つ以上のスイッチをONにした場合はそのレベルの合計が表示されるため1つのソースのレベルをモニターする場合は他のソースのスイッチをOFFにしてください。
- ⑰ **EFFECT SENDレベル**
EFFECT SENDから出力される信号レベルを調節します。出力される信号は、EFFECTスイッチ⑤で選択します。
- ⑱ **EFFECTリターンレベル**
EFFECTリターンに入力される信号レベルを調節します。サブのライン入力としても使うことができます。
- ⑲ **EFFECTキュースイッチ**
EFFECTリターンの信号をヘッドフォンに出力するかどうか設定するスイッチです。
- ⑳ **マスターレベルバランス**
リアパネルのLINE OUT端子から出力される信号の左右の音量バランスを調節します。
- ㉑ **マスターレベルヴォリューム**
リアパネルのLINE OUT端子から出力される信号のレベルを調節します。
- ㉒ **スプリットキュースイッチ**
ヘッドフォンのモニター形式を切り替えるスイッチです。ONにするとスプリット形式にモニターが切り替わります。スプリット形式ではヘッドフォンの左側より各PGMのキュースイッチで選択した音声が出力され、右側からはマスターアウトの音声が出力されます。OFFにすると通常のステレオモニター形式に切り替わり、各キュースイッチで選択した音声ヘッドフォンの左右より出力されます。
- ㉓ **H.Pレベル (ヘッドフォンレベル)**
ヘッドフォンジャックに接続されたヘッドフォンの音量を調節します。
- ㉔ **ヘッドフォンジャック**
ステレオタイプのヘッドフォンを接続します。8Ω以上のインピーダンスのものをご使用ください。

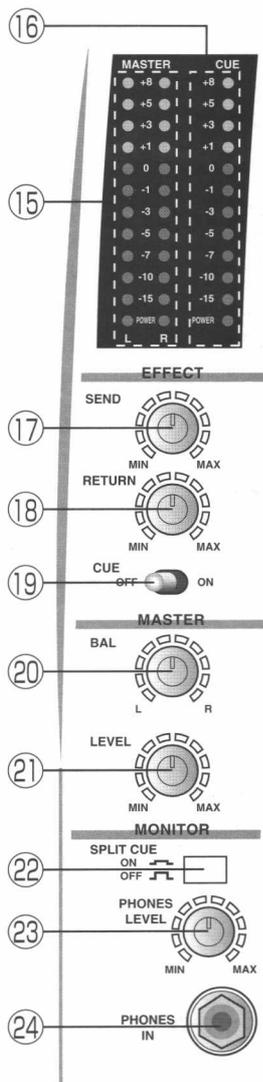
■アイソレーター部

- ㉕ **HI CUTスイッチ**
高音帯域のみの音量をカットするスイッチです。スイッチを倒すと高音帯域の音量がカットされます。スイッチが立っている状態ではフラットな状態です。シンバル、ハイハット等の音をカットする際に使用します。
- ㉖ **MID CUTスイッチ**
中音帯域のみの音量をカットするスイッチです。スイッチを倒すと中音帯域の音量がカットされます。スイッチが立っている状態ではフラットな状態です。ボーカルやメロディーをカットする際に使用します。
- ㉗ **LOW CUTスイッチ**
低音帯域のみの音量をカットするスイッチです。スイッチを倒すと低音帯域の音量がカットされます。スイッチが立っている状態ではフラットな状態です。バスドラム等のリズムソースをカットしてアカペラ効果を出すときに使用します。

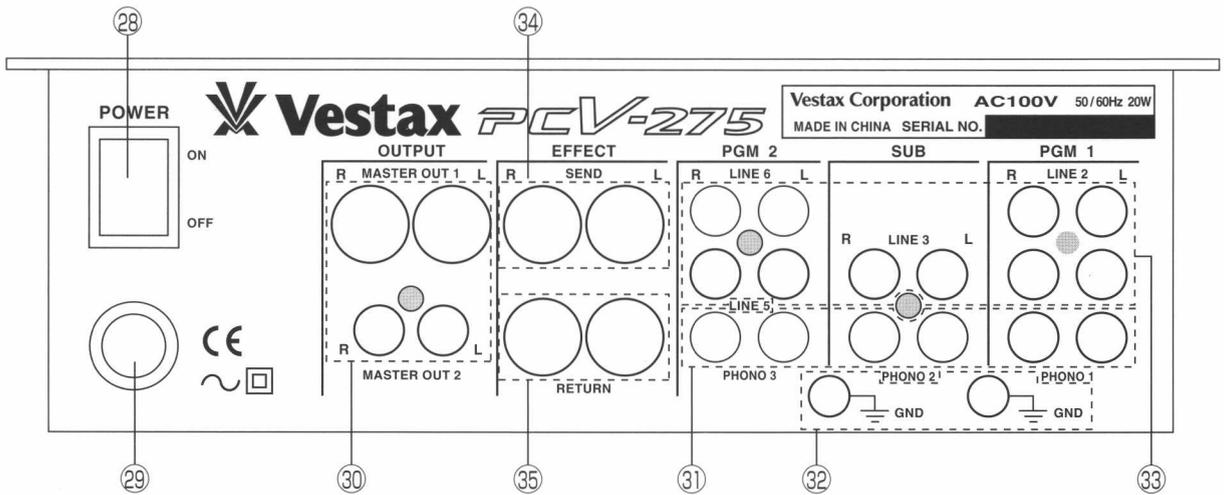
アイソレーター部



マスター部



リアパネル



②⑧ パワースイッチ

電源のオン/オフスイッチです。オンのときにマスターアウトレベルメーターの最下位のLEDが点灯します。このスイッチを操作する際は、接続しているパワーアンプなどのボリュームを下げるか、電源を切った状態で行って下さい。電源がONになる際にノイズが入ることがありますのでパワーアンプ、スピーカーに悪影響を及ぼすだけでなく最悪の場合破損する恐れがあります。御注意下さい。

②⑨ 電源ケーブル

AC100Vの電源コンセントに接続してください。

③⑩ OUTPUTジャック(PHONE1/4 INCH JACK1系統,RCA PIN JACK1系統) マスターのアンバランス出力端子です。パワーアンプ、プリメインアンプの入力端子に接続してください。

注意：本機のアウトプットは、お持ちのアンプのAUX・TAP・MD・DAT用の外部入力端子に接続してください。アンプのPHONO入力端子には、PHONOアンプが内蔵されておりますので、接続した場合音が割れたり歪んだりしますのでご注意ください。また、スピーカー、アンプの破損の恐れがありますのでご注意ください。

③① PHONO 入力ジャック

PGM1、PGM2、SUB Chのターンテーブル用入力端子です。MMカートリッジのセットされたターンテーブルを接続してください。なおMCタイプのカートリッジをご使用の場合はヘッドアンプが必要です。

③② グランドターミナル

ターンテーブルのアースコードを接続して下さい。ノイズやハムを減少させます。

③③ LINE 入力ジャック

PGM1、PGM2、SUB chのラインレベル機器の入力端子です。CDプレイヤー、テープデッキ、DAT、MD等を接続してください。

③④ EFFECT SEND ジャック

外部エフェクターの入力端子に接続してください。モノラル接続の際はL側端子をお使い下さい。

③⑤ EFFECT RETURN ジャック

外部エフェクターの出力を接続して下さい。モノラル接続の際はL側端子をお使い下さい。

主な仕様

● 定格入力レベル/インピーダンス	
PHONO	-42dB/470k Ω
LINE	-10dB/47k Ω
MIC	-42dB/3.3k Ω
EFFECT RCV	-10dB/47k Ω
● 定格出力レベル/インピーダンス	
LINE OUT	-4dB/10k Ω 以上
REC OUT	-10dB/10k Ω 以上
EFFECT SEND	-10dB/10k Ω 以上

● 周波数特性	20Hz~20kHz (+0, -3dB)
● SN比	-80dB以上
● 外形寸法(WXHxD)	290mm X 94mm X 380mm
● 消費電力	7w
● 重量	5kg